



外国出張報告書

平成 26 年 8 月 26 日

1. 出張国名 トンガ
2. 出張月 平成 26 年 7～8 月
3. 出張目的 地下水観測による現状把握、モデル化のための気象・
地下水観測データ収集・整理。： A

4. 成果の概要

4-1. 地下水観測による現状把握

トンガ王国の離島であるババウ群島ババウ島とハーパイ群島リフカ島の水利施設の現況調査や既存の深度別観測井における地下水（淡水レンズ）調査を実施した。

地下水観測の結果、深度の浅い観測井でも塩淡水境界の指標となる電気伝導度の基準値 200mS/m を超えており、地下水が一部塩水化していることが明らかとなった。

今後、特に塩水化が進行しているハーパイ群島リフカ島において、地下水の塩水化の現況調査を継続できるようであれば継続し、淡水レンズからの過剰揚水による塩水化（アップコーニング）の軽減法を検討する必要性が高いことがわかった。

4-2. モデル化のための気象・地下水観測データ収集・整理

ババウ島、及びリフカ島の深度別観測井等において、実施した地下水の一斉水位・水質観測結果をとりまとめた。また、トンガ国気象観測事務所において月別降水量・気温観測データを収集した。